

# 平成23年度 第3回 府中市男女共同参画推進懇談会 議事録

I 日時 平成23年9月30日（金）午後1時30分～3時

II 場所 女性センター 第1会議室

III 出席

(i) 委員

小西会長、諸橋副会長、岡村委員、河野委員、日並委員、岡田委員、阿部委員、大渡委員、藤岡委員、三池委員、和田委員

(ii) 事務局

岩田市民活動支援課男女共同参画担当副主幹、肥後男女共同参画推進係長、後藤事務職員

IV 欠席

並木委員

V 傍聴者

なし

VI 会議内容

1 開会

2 前回の議事録の確認

異議なく承認された。

3 配布資料の確認

- ・資料1 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書平成21年度・平成22年度実績及び平成23年度計画第三者評価について【事前送付資料】
- ・資料2 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書平成19年度・平成20年度実績及び平成21年度計画第三者評価について（抜粋）
- ・資料3 「わかりやすい男女共同参画」について

4 報告事項

(1) 資料3の「わかりやすい男女共同参画」について

資料3について小西会長より次のとおり説明があった。

平成23年9月3日（日）に開催された府中市女性センター登録団体交流会で「わかりやすい男女共同参画」について講演をした。

1975年を国際婦人年と国連が位置づけ、この年以降、女性の地位向上・男女共同（平等）参画社会の実現に向けた動きが活発化したが、日本ではなかなか

進まない状況である。政府は「男女共同参画社会の形成は21世紀の最重要課題」であるとし、「あらゆる分野で2020年までに指導的地位の女性を少なくとも30%に」との目標をかかげている。また、1999年の第54回国連総会で「女子差別撤廃条約」をより実効性のあるものにするための「選択議定書」が採択され、102カ国が批准しているが、日本ではこの「女子差別撤廃条約選択議定書」を批准していない。2009年に国連女子差別撤廃委員会は、第6回日本政府報告を審議して「選択議定書の批准」を含む厳しい勧告をしている。この国連の動きに対して、2011年8月に国際婦人年連絡会が、前内閣に対して「女子差別撤廃条約選択議定書」の批准の実施を求める要望書を出している。

(2) 市議会の報告について

事務局から次のとおり報告した。

市議会において、DVシェルターのことや男女共同参画推進懇談会の位置づけ、懇談会の報告書、男女共同参画推進状況評価報告第三者評価等を市の施策にどう反映しているかという質問があった。それに対し、懇談会の報告書は今までに数々の施策に反映しているものであり、懇談会からの意見は貴重なものとして施策に反映していきたいと回答した。今後も懇談会委員の皆さまには、市の施策に積極的なご意見をいただきたいと、お願いと報告をした。

## 5 協議事項

(1) 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書第三者評価について

担当のグループに分かれて、担当項目の評価についての方法や評価内容の検討を行った。各グループの委員は担当項目の評価報告を10月20日（木）までに事務局に提出することとした。11月の会議では各担当が評価した項目を全委員で協議をする。

(4) その他

ア 次回の会議日程について

日 時：平成23年11月18日（金）午後1時半～3時半

場 所：スクエア21・女性センター 第1会議室

## 6 閉会